

金沢学院大学

平成26年度 文学部 国際文化学科 入学試験問題 (推薦)

小論文

(注意事項)

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
- 2 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 3 解答用紙には、解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入しなさい。
 - ①氏名欄
氏名、フリガナを記入しなさい。
 - ②受験番号欄
受験番号(算用数字)を記入しなさい。
- 4 問題用紙にも受験番号を記入しなさい。
- 5 問題用紙、解答用紙は持ち帰ってはいけません。

(解答上の注意)

解答はマークによる解答と記述による解答があります。両方とも解答用紙の所定欄に記入しなさい。マークによる解答は、例えば と表示のある問いに対して3と解答する場合は、下記の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄
10	① ② ● ④ ⑤

受験番号	
------	--

次の文章を読んで、後の問（問1～7）に答えなさい。

多くの人は、コミュニケーションの中で自分や他者の性格を判断するときに、血液型を話題(a)にします。つまり、血液型性格判断のために血液型を気にしているのでしょうか。では、いったいどのぐらいの人が血液型性格判断を信じているのでしょうか。心理学者の山岡重行は、1999年から2009年にかけて、大学生を対象に血液型性格判断に関する調査を行いました。その調査結果によると、血液型性格判断を信じている大学生は1999年から2009年にかけてコンスタントに10~15パーセント程度おり、「少し信じている」と回答する大学生も50パーセント前後いるそうです。

ブームが来たり去ったりしてはいますが、今でも日本では、血液型性格判断が非常に根深くシン透(r)しているようです。(中略)

山岡の調査では、B型の人は他の血液型に比べて、「誰かから血液型に関して不快なことを言われた」「血液型のため嫌われた」「血液型のためバカにされた」「血液型のため誰かと仲が悪くなった」「血液型を人に言うのがいやだった」「血液型のため誰かに差別された」といった、ネガティブな経験をしている人が統計的に(b)有意に多いことが明らかにされています。(中略)

もちろん、みなさんの中にも「私はB型に悪いイメージはもっていない」という人がいることでしょう。たしかに、全員がB型に対して悪いイメージを抱いているわけではありません。(1)しかし、全体的にみると、やはりB型やA B型の血液型の持ち主に対するイメージは、O型やA型に比べると明らかに悪いものになっているといえるのです。

血液型は遺伝で決定し、さらに特定の血液型に対してはネガティブなイメージがフ随(4)しています。「そんなバカな」と思うかもしれませんが、血液型性格判断は、人種差別や性差別と同じ構造をもつのです。(1)どれも、遺伝するものに対して良いイメージ・悪いイメージがつけられ「付き合うのがいやだ」「相性が悪い」と判断されるのですから。

社会心理学者の佐藤達哉は、特定の血液型に対してネガティブな発言が行われることによって不快感を生じさせることを、ブラッドタイプ・ハラスメントと呼びました。

多くの人は、「血液型は気にしているけれど、まさか自分が差別なんかしているわけではないだろう」と思うのではないのでしょうか。ところが、差別というのは「よし、やってやるぞ」と思ってするものではありません。「当たり前じゃないか」と思ってするものです。

〇〇人を差別する人が思うことは、「よし、今日から俺は〇〇人を差別してやる」ではなく、「〇〇人は劣っているのだから、こういう扱いをされてAじゃないか。何をバカなことを言っているのだ」というものでしょう。

「B型が嫌いなのはしょうがないじゃないか。だって、自己中心的でいい加減なのだから」というせりふには、差別する気持ちと共通の構造があります。

アメリカの社会心理学者ドゥエックは、暗黙の知能観(ii)という概念を提シヨウ(y)しています。暗黙の知能観とは、自分の能力についてどのような考えをもっているか、ということの意味します。

この暗黙の知能観には、大きく分けて二種類のものがあります。ひとつは「固定的知能観」と呼ばれるものです。これは、自分の能力(a)は生まれもったものであり、努力してもそんなに変わらないと信じていることです。もうひとつは「増加的知能観」と呼ばれるものです。これは、自分の能力が努力次第で伸びていくと信じていることです。

固定的知能観の持ち主は、失敗や混乱など良くない結果に直面したとき、これを自分の能力が欠けているためだと考えてしまいます。すると、とても落ち込んだり、抑うつ的にふさぎこんでしまったりしやすくなります。さらに、努力することはもって生まれた自分の能力を否定することになりますので、努力を避けようとしします。

それに対して増加的知能観の持ち主は、失敗などの困難に直面すると、それをもっと努力すること、あるいは成功への別の方法を考えるべきことだと解釈します。そして、困難を取り除くためにもっと努力しようとするわけです。

ドゥエックたちは、子どもたちを対象にしてほめ方の実験を行っています。あるグループの子どもたちは「よくできたね、頭がいいね」と、彼らの能力をほめます。別のグループの子どもたちには、「よくできたね、頑張ったね」と、努力をほめるようにします。たったこれだけの声のかけ方のちがいを与えただけなのに、能力をほめた子どもたちは、新しく、より難しい問題を避けるようになってしまいました。その一方で、努力をほめた子どもたちの多くは、新たな問題にBいったのです。

このような知能観は、対人関係についてもいえることです。

対人関係を増加的知能観としてとらえる人は、自分や相手、関係性そのものも努力次第でCと信じる傾向にあります。その一方で、対人関係を固定的知能観でとらえる人は、理想の相手は出会った瞬間から息が合い、それがずっと続いていくと信じる傾向にあります。(iii)

恋愛においても同じことです。恋愛を増加的知能観としてとらえる人は、困難に直面しても二人で助け合って問題を解決し、徐々に付き合い方のコツを身につけていくものだと思っています。それに対して、恋愛を固定的知能観でとらえる人は、恋愛関係は最初からすべてが自然にうまくいくのが当然だと思いう傾向にあります。(2)

さて、血液型で「相性が良い」「相性が悪い」ということは、テン型的(x)な「固定的知能観」のとら

え方だといえます。なぜなら、血液型を問題にする以上、その相性は「生まれつき」決まっていることになるからです。

このような考え方もつ人は、血液型による相性が良ければ「うまくいくはず」だと判断し、相手との血液型の相性が悪ければ、ちょっとした出来事でも「やっぱり相性が悪いからだ」と判断してしまいます。

本来、対人関係の中では良いことも悪いことも、さまざまな出来事が生じるはずなのです。しかし血液型で相性が悪いと判断した相手とケンカや意見の相違が起きたときには、それを改善する方向に向かうというよりも、「最初から相性が悪いと決まっているから」と考えて、改善しようという努力が失われてしまいます。

このような対人関係を繰り返せば、対人関係のパターンが固定化していつてしまうことでしょう。

(小塩真司『性格を科学する心理学のはなし—血液型性格判断に別れを告げよう—』新曜社より)

問1 下線部 (a) ~ (c) の語句の問題文中の意味の英訳として最も適切なものを、次の各群の①~⑤のうちから、それぞれ1つ選びなさい。解答番号は ~

- | | | |
|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| (a) 話題 <input type="text" value="1"/> | (b) 統計的に <input type="text" value="2"/> | (c) 能力 <input type="text" value="3"/> |
| ① legend | ① biologically | ① ability |
| ② topic | ② dramatically | ② effort |
| ③ speak | ③ linguistically | ③ force |
| ④ saying | ④ professionally | ④ interest |
| ⑤ usage | ⑤ statistically | ⑤ practice |

問2 下線部 (1)、(2) を英訳したとき、() 内に入る単語として最も適切なものをそれぞれ1つ選びなさい。解答番号は ~

下線部 (1) () everyone has a bad impression of type B.
① Almost ② Never ③ Not ④ No ⑤ None

下線部 (2) Those who consider true love in terms of a *fixed mindset tend () take it for granted that from the beginning a romantic relationship will naturally go well.
① at ② for ③ of ④ to ⑤ with

[注] * fixed mindset 固定的知能観

問3 下線部 (ア) ~ (エ) で使われている漢字と同じものを、次の各群の①~⑤のうちから、それぞれ1つ選びなさい。解答番号は ~

- | | |
|---|---|
| (ア) シン透 <input type="text" value="6"/> | (イ) フ随 <input type="text" value="7"/> |
| ① 敵がシン入してくる。 | ① 情報をフ加する。 |
| ② この漢字にはシン遠な意味がある。 | ② フ担を軽減する。 |
| ③ 風雨で岩肌がシン食される。 | ③ 鉄道をフ設する。 |
| ④ 手足の屈シン運動をする。 | ④ 恐フにおののく。 |
| ⑤ 動物のシン化について考える。 | ⑤ 海外にフ任する。 |
| (ウ) 提ショウ <input type="text" value="8"/> | (エ) テン型的 <input type="text" value="9"/> |
| ① 会にショウ待される。 | ① テン覧会を鑑賞する。 |
| ② 合ショウ団に入る。 | ② 得テンを挙げる。 |
| ③ 時期ショウ早である。 | ③ テン加物に気をつける。 |
| ④ 不ショウ事が起こる。 | ④ テン罰を受ける。 |
| ⑤ 殺ショウをしてはならない。 | ⑤ 式テンに参列する。 |

問4 空欄 A~C に入る表現として適当なものを、次の各群の①~⑤のうちから、それぞれ1つ選びなさい。解答番号は ~

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| A <input type="text" value="10"/> | B <input type="text" value="11"/> |
| ① 不思議 | ① チャレンジして |
| ② 不当 | ② 意欲をなくして |
| ③ かわいそう | ③ 興味を示さなくなつて |
| ④ おかしい | ④ 失敗して |
| ⑤ 当然 | ⑤ 成功して |
| C <input type="text" value="12"/> | |
| ① 変えることはできない | |
| ② 維持できる | |
| ③ 決まっていく | |
| ④ 変化させていける | |
| ⑤ 報われることはない | |

問5 下線部（Ⅰ）「血液型性格判断は、人種差別や性差別と同じ構造を持つのです。」とあるが、この部分の説明として、ふさわしいものを次の①～⑤のうちから、1つ選びなさい。

解答番号は

- ① 血液型は人種と同様、親から受け継がれるものであるから、その家族への悪いイメージは代々受け継がれていく。
- ② ある特定の人種にはB型の人が多く、人種と血液型の組み合わせでイメージが一層悪くなる。
- ③ 人種や性別、血液型は生まれつき決まっており、自分で選択することができない性質であるにも関わらず、悪いイメージがつけられてしまうことがある。
- ④ 血液型性格判断へのこだわりは女性に多く見られ、そのため、女性は非科学的であると見なされる傾向にある。
- ⑤ 血液型性格判断を信じていない人にとっては、血液型によってその人の性格を決めつけられることは不愉快である。

問6 下線部（Ⅱ）「暗黙の知能観」について、その意味を説明した文としてふさわしいものを次の各群の①～⑤のうちから、1つ選びなさい。解答番号は

- ① 人びとに昔から信じられている知能観。
- ② その人と話す相手の間で了解されている知能観。
- ③ その人が他人に隠して持っている知能観。
- ④ その人が知らないうちに身につけた知能観。
- ⑤ その人をよく観察すると見えてくる知能観。

問7 下線部（Ⅲ）「対人関係を固定的知能観でとらえる人は、理想の相手は出会った瞬間から息が合い、それがずっと続いていくと信じる傾向にあります。」とあるが、このような傾向を持つことによって起こるかもしれない問題について、対人関係を増加的知能観でとらえる人と対比しながら説明しなさい。全体を380～400字（横書き）で解答用紙に記すこと。